

日本の銀行貸出におけるリバーサル・レートの実証分析  
—金融政策効果の非線形性の検証—

関西学院大学大学院経済学研究科博士前期課程  
三宅杏奈

概要

本研究は、日本の長期にわたる低金利環境のもとで、金融緩和政策が銀行貸出に与える効果の非線形性を実証的に検討するものである。従来の研究は、マイナス金利政策の導入前後における平均的な効果に着目するものが多く、政策金利水準に応じた効果の変化は十分に検証されてこなかった。そこで本研究では、地方銀行の個別パネルデータを用いた閾値回帰モデルを推定し、追加的な政策金利引下げが貸出成長率を押し上げるのではなく、むしろ抑制するようになる水準をリバーサル・レートとして捉える。分析の結果、QQE 導入前には政策金利の低下が貸出成長率を押し上げていた一方、QQE 導入後には、政策金利が一定水準を下回ると追加的な政策金利引下げが貸出成長率を抑制する可能性が示された。

キーワード：金融政策、銀行貸出、リバーサル・レート

JEL 分類番号：E52, E58, G21